

2003 年度 W G 活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	総合都市インフラWG	主査名：佐土原 聡
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会(都市環境・都市設備小委員会)	主査名：成 田 健 一
設置期間	2003 年 4 月 ~ 2005 年 3 月	
設置目的 各年度活動計画	地球温暖化をはじめとした地球環境問題、ヒートアイランド等の地域環境問題に対して、都市インフラ計画の面からの解決策を提示するための研究を行うことを目的とする。比較的規模の大きな都市を対象に、エネルギー、水、ゴミ、情報のインフラをより統合化するとともに自然環境を活かしたものに再構築する方策を検討する。そのために、エネルギー、水、ゴミ、情報のインフラ、共同溝等の技術に関する最新情報を収集しながらシステムについての定性的な検討を行った上で、いくつかの都市を取りあげたケーススタディをとおして、定量的に検討する。合わせて、実現のための政策的、社会的課題も整理する。	
委員構成 (委員名(所属))	佐土原 聡(横浜国立大学)、吉田 聡(横浜国立大学)、大崎 一仁((株)日建設計)、金島 正治(清水建設(株))、下田 吉之(大阪大学)、田中 俊彦(東京電力(株))、垂水 弘夫(金沢工業大学)、榎本 五郎(日本環境技研(株))、森山 正和(神戸大学)、山城 耕司(東京ガス(株))、湯浅 和博(東京工業大学)、湯屋 博史(電源開発(株))	
2003 年度予算	70,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	第1回：2003年5月9日、10名、2年間の活動計画の検討 第2回：2003年7月10日、5名、勉強会、第3回：2003年12月11日、6名、勉強会、第4回：2004年3月29~30日、4名、勉強会・見学会・2004年度の活動計画の検討
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無) 2003年度は4回の委員会を開催し、活動計画、研究内容の検討、勉強会、見学会を行った。具体的な研究内容として地域冷暖房の省エネルギー評価、分散電源や未利用エネルギーの活用、熱供給網の広域ネットワーク化などの地域エネルギーシステムの将来像の検討を行った。最新の状況や導入事例の把握のために六本木ヒルズについての勉強会、富山市エコタウン、片山津温泉街区地域暖房の見学会を行い、普及可能性の検討および課題の整理を行った。また地球環境問題への取り組みとしてCDM(クリーン開発メカニズム)共同実施、排出権取引などの世界的動向の把握を行った。以上は来年度の学術的・技術的・社会的な研究成果につながる基礎となるものである。 さらに外部への情報発信の場として、2003年6月6日に地球環境委員会との共催で世界ガス会議の環境調和型都市デザイン国際コンペで最優秀賞を受賞したセバスチャン・モファット氏の講演会を開催した。
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係) 勉強会、見学会の開催により、当初計画していた都市インフラの技術、導入例に関する情報収集と課題の整理がほぼ達成された。また統合された都市インフラに関する定性的な検討として、地域冷暖房を核とした地域エネルギーシステムの将来像について研究し、1年目としての十分な成果が得られた。都市インフラの評価では地域冷暖房について実績データに基づいた省エネルギー評価に関する成果が得られた。
その他評価すべき事項	本WGは特に大都市を研究フィールドとしているが、地方中核都市などを対象に研究に取り組んでいるエコシティWGと年度当初、年度末に合同勉強会を開催するなど連携して活動を行い、より汎用性のある研究成果が得られた。